



# 加賀市 歴史文化 学習帳 I

# 歴史 編



# 加賀市をもっと知り もっと好きになる!

未来へと受け継がれる素晴らしい加賀市の文化遺産。

ふるさとを深く知ること、いつもの見慣れた景色もひと味もふた味も違って見えてくる。





# 加賀市 歴史文化 学習帳 I

歴史  
編

加賀市文化財総合活用事業実行委員会  
加賀ふるさと検定・おもてなし講座実行委員会

## はじめに

北陸新幹線金沢駅の開業にともない、首都圏から加賀市に訪れる人は格段に増加するものと期待されています。今、私たちに求められているのは「ふるさと意識」や「おもてなし意識」の高揚ではないでしょうか。

平成 25 年度より、加賀商工会議所及び山中商工会では各種団体と連携し、「加賀ふるさと検定・おもてなし事業」をスタートさせました。そのきっかけは、加賀商工会議所の若い人たちで組織する青年部が、加賀市の市民政策提案に応募し、その第 1 号として採択を受けたことでした。

第 1 回目のふるさと検定初級試験には、280 名に及ぶ市民の方々が受験されました。この中には、職場でチームをつくりグループ受験をされた事業所や 1 学年全員で団体受験をした高等学校もありました。87 歳の高齢で受験され見事合格バッジを手にした方もおられました。まさに老若男女、数多くの市民の方々がふるさとの歴史や文化を意欲的に学び、検定試験にチャレンジされたのです。

今回、ふるさと検定を受験される方々のための参考書ともいえるべき「学習帳」を文化庁のご支援をいただくことで発刊することができました。学習帳は「歴史編」「自然・動植物・民俗・文化財編」「産業・人物編」「地図・年表・模擬試験編」の 4 部に分かれています。4 冊全てをひととおりに読んでいただくことで、加賀市全体の歴史や自然、産業などが理解できるようになっています。

是非とも、多くの市民の皆様方にこの学習帳をお読みいただき、その結果、ふるさとへの愛着と誇りがなおいっそう高まることを期待するものであります。

最後になりましたが、本書を作成するにあたり、ご多忙のところ短期間でご執筆いただきましたテキスト作成委員の皆様方に心から感謝を申し上げ、発刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

平成 26 年 8 月

加賀ふるさと検定・おもてなし講座実行委員会  
会長 新家 康三（加賀商工会議所会頭）

# 目次

## 古代編

旧石器時代	8
縄文時代	9
弥生時代	10
古墳時代	11
飛鳥・奈良時代	14
平安時代	15

## 中世編

鎌倉・室町・戦国時代	
源平合戦と実盛伝承	18
東国御家人と在地領主	19
中先代の乱と狩野一党	19
土豪の荘園侵略	20
貴族の下国	21
時宗と実盛供養	21
蓮如と吉崎道場	22
文明・長享の一揆	23
朝倉氏と永正一揆	24
加州三ヶ寺体制の支配	24
享祿の錯乱と本願寺支配	24
朝倉宗滴の江沼侵略	25
一向一揆の終わりと織田軍の進出	26

江戸時代	
大聖寺城主 溝口秀勝の時代	28
山口玄蕃頭宗永と大聖寺合戦	28
前田利長の江沼郡支配	29
大聖寺藩の成立	30
灰塚論争と3人の殉死者	31
支配機構と歴代藩主	31
江沼神社と長流亭	32
実性院と全昌寺	33
十村制度と郷村制度	33
参勤交代と北国街道	34
大聖寺川の舟運	35
采女事件と政治抗争	35
正徳の百姓一揆	36
伊能忠敬の大聖寺藩領測量と海防策	36
藩財政と十万石の高直し	37
山中温泉・山代温泉の発祥と隆盛	37
後藤才次郎と九谷焼	38
九谷焼の再興	38
山中塗りの歴史	39
大聖寺の絹織物	39
北前船の活躍と3つの拠点	39
その他の産業	40
芭蕉と北陸行脚	42
大聖寺藩の学問と芸術	42
大聖寺城下町の文化と茶の湯	43
山中節の発祥	44

幕末・維新时期

廃藩置県と町村区画の変遷 .....46

パトロン事件 .....46

浦上キリシタンの預かり .....47

みの虫一揆 .....47

明治・大正期

明治天皇の北陸巡幸 .....47

加州松島社と鉛筆製造 .....48

九谷焼の振興 .....48

絹織物業と製糸業の発展 .....49

リム・チェーンの製造 .....49

大聖寺博覧会の開催 .....50

大聖寺川を利用した水力発電事業 .....50

大津事件と北ヶ市市太郎 .....50

八十四銀行の創業と破綻 .....51

片山津温泉の発展 .....52

議会と選挙 .....52

町村の財政 .....53

近代の教育 .....54

近代の戦争と犠牲者 .....55

北陸線の開通と電車網の整備 .....55

昭和時代

新憲法と選挙 .....56

江沼郡の農地改革 .....57

福井震災と郷土 .....57

学問と芸術 .....57

加南線の廃止と加賀温泉駅の誕生 .....58

加賀市の誕生 .....59

#### 【凡 例】

①本書は、平成 20 年 3 月に加賀市教育委員会が作成した『加賀市歴史文化基本構想』の普及版として、文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」の助成を受けて作成したもので、加賀ふるさと検定のテキストにも活用するものである。

②本書は、第 1 部「歴史編」、第 2 部「自然・動植物・民俗・文化財編」、第 3 部「産業・人物編」、第 4 部「地図・年表・模擬試験編」の 4 分冊となっており、4 冊全体で加賀市の歴史・自然・産業などを通覧することができるようになっている。

③本書第 1 部「歴史編」は、江沼地方史研究会に所属する山口隆治、伊林永幸、見附裕史、田嶋正和の 4 名が執筆した。

④本文中の写真は、中村準一が撮影した。但し、一部の写真においては、『加賀市史』『大聖寺町史』『片山津町史』『ふるさとの写真集加賀江沼』『加賀市の文化財』『加賀江沼人物事典』などから転載したものもある。

⑤記述内容に特に表記がなければ、平成 26 年 4 月を基準としている。

⑥記述内容で諸説がある場合は、最も一般的と思われる説のみを記載しているが、その他の説を否定するものではない。